

☆ せら夢公園自然観察園 生きものたちの春 ☆

2月になって、温かい日も多くなり、春のおとずれを感じます。せら夢公園自然観察園でも、カスミサンショウウオ、ヤマアカガエル、ニホンアカガエル、ニホンヒキガエルの4種類の両生類が冬眠から目ざめて、水辺にたまごを産みにやってきました。



カスミサンショウウオのたまご(2/8) 左上写真が親で、ふだんは山林の落ち葉の下などで暮らしています。



カスミサンショウウオ池下の産卵現場。この溝はもともと、「ヒヨセ」と呼ばれる田んぼの水路でした。



ヤマアカガエルのカップル。オスはメスに抱きつくために前足が太く、親指がこぶになっています(右欄上写真)



湿地やため池にはアカガエルのたまごがいっぱい(左下) 生きもの観察のシーズンがはじまりました。



トンボ池で産卵するニホンヒキガエルのカップル(2/16) 気温-2℃。寒の戻りで雪がちらつく夜の産卵でした。



総勢25匹!“クッククツ”と鳴き声を上げながらのカエル合戦です。